

IV. 埋蔵文化財展・考古学セミナーの記録

平成28年度 埋蔵文化財展等の活動について

1 目的と概要

愛知県埋蔵文化財センターの発掘調査により出土した資料を広く公開するとともに、歴史講座や体験プログラムなど多彩な企画を通じて、県民の埋蔵文化財に対する理解を深め、文化財保護意識の向上を図ることを目的とした。

平成28年度は、春に愛知県埋蔵文化財調査センターと共催し、新出土品展と重要文化財の特別公開を行った。夏は愛知県陶磁美術館と愛知県教育委員会との共催のもと、愛知県陶磁美術館にて、夏の埋蔵文化財展「弥生への旅 朝日遺跡・2000 年前のキャラヴァンサライ」を開催した。秋には、愛知県埋蔵文化財調査センターの協力を得て、5回の連続歴史講座やバックヤードツアー・考古学体験をおこなった。11月には、名古屋市博物館において、当センター・名古屋市博物館・名古屋市教育委員会文化財保護室の3者が主催する考古学セミナー「あいちの考古学2016」を行った。

2 春の埋蔵文化財展「やとみ新発見展！」

1) 会場：愛知県埋蔵文化財調査センター

2) 会期

平成28年4月2日(土)から4月17日(日)

3) 開催趣旨

弥富市にある「愛知県埋蔵文化財調査センター」にて、「やとみ新発見展(しんはっけんでん)！」と題して、昨年度の発掘調査成果について、展示解説を実施。入館無料。

4) 内容

○埋文桜ニュース発行

○展示

2階 資料管理閲覧室

「考古楽さんぽ」展

2階 収蔵庫C

「新出土品展2016」

「土器クロニクル」展

1階 ロビー 2階 廊下 パネル展示

配布資料：埋文桜ニュース(遺跡の概要説明)

ペーパークラフト(パレス土器)

遺跡の紹介しおり

5) 考古楽縁日

埋蔵文化財展の開催初日2日間は、隣接する弥富市社会教育センターで「やとみ春まつり」が開催

されるのに合わせ、埋蔵文化財および当センターの活動を周知する目的で「考古楽市2016」を実施。

○キネクトゲーム ○展示解説

*ゲーム参加者数：721名(2日間のべ)

6) その他

外部より開館していることがわかるよう、布製の垂れ幕や、ノボリを多数設置。また「やとみ春まつり」会場にて、チラシの配布を行う。また調査センター入り口付近においても、チラシの配布を行った。期間中、愛知県埋蔵文化財調査センターが国指定重要文化財である「朝日遺跡」の遺物を展示。また縁日開催日には調査センターが輪投げと火起こしのイベントを開催した。

*全期間中の来館者：1,134名

3 夏の埋蔵文化財展

▲春の埋文展 入館者数

▲「埋文桜ニュース」



▲桜と垂れ幕



▲呼び込み風景



▲やとみ新発見展"



▲縁日の様子

「弥生への旅 朝日遺跡
-2000 年前のキャラヴァンサライ-」

1) 会場：愛知県陶磁美術館

2) 会期：平成28 年7 月2 日(土)～
8 月28 日(日)

3) 主催：愛知県陶磁美術館・愛知県教育委員会・(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター

4) 開催趣旨

メイン展示「弥生への旅 朝日遺跡」では、愛知県埋蔵文化財センターが設立30周年の節目を迎えたことに因み、センターが中心となって調査した朝日遺跡について展示紹介する。2012年に、同遺跡の出土遺物が国指定の重要文化財に指定されて以降、県内各地で紹介されているが、大型展示施設での本格的な展覧会は未だ行われていなかった。そこで本展示では、朝日遺跡から出土した重要文化財を中心として、弥生時代の造形美や、当地域の人々の多様な活動を紹介した。

5) 内容

・メイン展示：朝日遺跡の重要文化財を中心に、朝日遺跡を紹介。
・サブ展示1「弥生古物を旅する」
古美術としての弥生時代の遺物を展示。
・サブ展示2「あいち考古楽市」
県内市町村などの考古学関連機関の展示。
参加団体は以下の通り。
春日井市教育委員会、稲沢市教育委員会、東海市

教育委員会、特定非営利活動法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク、南山大学、安城市教育委員会、豊田市教育委員会、豊橋市教育委員会、豊川市教育委員会、田原市教育委員会、愛知学院大学、名古屋大学、荒木集成館

6) 学習・体験プログラム

*事前申込不要、参加無料。

(1) 講演会・シンポジウム1「倭国への歷程」

・日時：7月9日(土)、午後1時30分～4時30分

・会場：愛知県陶磁美術館 本館 講堂

① 講演「朝日遺跡の盛衰と弥生時代」
講師：設楽博己氏(東京大学大学院人文社会系研究科考古学研究室教授)

② シンポジウム「倭国への歷程」
パネラー：設楽博己氏(東京大学)・石黒立人(当センター専門委員)・原田 幹(愛知県教育委員会)・永井宏幸

(2) 講演会・シンポジウム2「狗奴国創世記」

・日時：8月20日(土)、午後1時30分～4時30分

・会場：愛知県陶磁美術館 本館 講堂

① 講演「狗奴国創世と朝日遺跡の終焉」
講師：赤塚次郎氏(NPO 法人ニワ里ねっと)

② シンポジウム「狗奴国創世記」
パネラー：赤塚次郎・樋上 昇・早野浩二・宮腰健司

- (3) 連続講座1「朝日講座」
- ・7月16日(土)「“はじまり”の朝日遺跡」
鬼頭 剛
 - ・7月23日(土)「“貝殻山貝塚”から“朝日遺跡”へ」
永井宏幸
 - ・7月30日(土)「朝日遺跡の“衣・食・住”」
宮腰健司
 - ・8月 6日(土)「朝日遺跡の“日常と非日常”」
石黒立人
 - ・8月13日(土)「朝日遺跡と色使い」
堀木真美子・宮腰健司
 - ・8月27日(土)「朝日遺跡“総集編”」
石黒立人
- *時間：午後1時30分～3時
会場：愛知県陶磁美術館 本館 展示説明室
- (4) 連続講座2「担当者が語る発掘現場三十年」
- ・7月24日(日)
「清洲城下町遺跡」 鈴木正貴
「鷲窯跡・桑下城跡」 小澤一弘(当センター専門委員)
 - ・8月7日(日)
「八王子遺跡」 樋上 昇
 - ・8月7日(日)
「城山城跡」 永井邦仁
「室遺跡」 都築暢也(中京大学)
 - ・8月7日(日)
「石座神社遺跡」 早野浩二
- *時間：午後1時30分～3時
会場：愛知県陶磁美術館 本館 講堂
- (5) 展示解説
- 7月10日(日)、7月18日(月・祝)、8月21日(日)
- *時間：午後1時30分～(約60分)
会場：愛知県陶磁美術館 本館 第1・第2展示室



▲埋蔵文化財展ポスター

- (6) ワークショップ
- ・7月 2日(土)「勾玉づくり」(県教委事業)
 - ・7月 3日(日)「拓本体験」
 - ・7月17日(日)「キネクトゲーム」・「石器体験(愛知学院大学)」
 - ・7月31日(日)「弥生機織り」
 - ・8月14日(日)「巴型鋳込み模擬体験」
 - ・8月28日(日)「銅鐸鋳込み模擬体験」
- *時間：午前10時～正午、午後1時～3時
7月2日は開会式のため午前11時から
・会場：愛知県陶磁美術館 本館 特別展示室入口前
- (7) 観覧案内
- (1) 開館時間
午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
- (2) 休館日
毎週月曜日。ただし、7月18日(月)は開館、19日(火)は休館。
- (3) 観覧料()内は20名以上の団体 < >内は身体障害者等
- ① 一般 600円(480円)<300円>
 - ② 高大生 500円(400円)<250円>
 - ③ 中学生以下無料
- ただし、学校行事の高校生は無料。
また、小学校・中学校・高等学校の学校行事の引率者は無料。

- 7) 広報活動その他
- ポスター・チラシの作成は愛知県陶磁美術館が担当した。ポスターなどの配布は、共催者がそれぞれ分担して実施。サブ展示2への出展団体への資料配布は陶磁美術館がおこなった。当センターからは、県図書をはじめ県内博物館、考古学関連大学、埋蔵文化財センターなどへの配布を行った。
- また展示期間中の各講座などの案内チラシ・ポスターなどを作成し、イベントの周知を行った。

*総入館者数 5,084名

	シンボ	朝日講座	30年講座	ワークショップ	展示解説
7月2日(土)				54	
7月3日(日)				19	
7月9日(土)	188				25
7月10日(日)					
7月16日(土)		47		44	
7月17日(日)					
7月18日(祝・月)					17
7月23日(土)		67			
7月24日(日)			57		
7月30日(土)		46		50	
7月31日(日)					
8月6日(土)		47	61		
8月7日(日)					
8月13日(土)		58		34	
8月14日(日)					
8月20日(土)	248				40
8月21日(日)		99			
8月27日(土)				37	
8月28日(日)					
各合計	436	364	118	238	82
総合計			1,238		

▲関連イベント 参加者数



▲メイン展示



▲メイン展示



▲メイン展示



▲サブ展示2「あいちの考古楽市」



▲メイン展示



▲展示解説



▲講演会・シンポジウム1「倭国への歷程」



▲講演会・シンポジウム2「狗奴国創世記」

4 センター公開事業

「バックヤードツアーと考古学体験」

趣旨：バックヤードツアーや考古学の体験イベントを通じて、当センターの事業を紹介する。

期間：9月16日(金)、10月14日(金)、11月11日(金) (毎回10時受付～) ＊参加費無料

会場：愛知県埋蔵文化財調査センター

内容：バックヤードツアーや拓本体験など

＊参加者数：9/16-16名、10/14-1名、11/11-3名

＊のべ参加者数 20名

5 連続歴史講座

「祈りと祭りの考古学」

趣旨：一般向けに、設楽地域などの最新の発掘情報を中心に「祈りと祭り」に焦点をあてた考古学講座。

会場：愛知県埋蔵文化財調査センター2階 研修室

内容：「祈りと祭り」に関する考古学講座。5回開催。13時から15時。＊参加費無料

9月24日(土) 「縄文のいのり」川添和暁

10月 8日(土) 「弥生の農耕祭祀」永井宏幸

10月22日(土) 「古墳のまつり」早野浩二

11月 5日(土) 「古代のまじない」池本正明

11月19日(土) 「戦国の呪術」鈴木正貴

＊参加者数：9/24-22名、10/8-21名、10/22-26名、11/5-20名、11/19-15名

＊のべ参加者数 104名

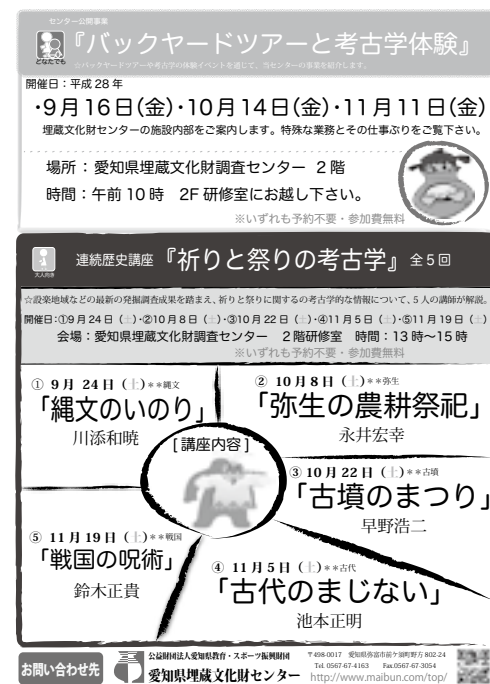
＊「バックヤードツアー」と「連続歴史講座」の案内チラシは、2つの行事を1枚にまとめて作成した。参加者が近隣の住民と想定されたため、当センター所在地域に弥富市役所を通じ回覧(200部)した。その他、県内図書館及び県内関連博物館に掲示依頼文書とともに郵送した。なお県内図書館への配布は、県図書館内の資料配布ボックスを利用した。



▲連続歴史講座



▲連続歴史講座



▲バックヤードツアーと連続歴史講座の案内



▲連続歴史講座の資料

第5回 考古学セミナー「あいちの考古学2016」の記録

概要：

考古学セミナー「あいちの考古学」は愛知県内外で活動する県・市町村教育委員会、公益財団法人、大学、特定非営利活動法人（NPO）、研究グループなどが一堂に会して、考古学に関する調査・研究成果を一般県民に公開し情報を共有することを目的として、平成24年度より毎年開催している。一昨年度から名古屋市博物館を会場とし、下記の要領で2日間にわたって開催した。

主催：愛知県埋蔵文化財センター・名古屋市博物館・名古屋市教育委員会文化財保護室

日時：平成28年11月26日(土) 午後1時から午後4時30分、

11月27日(日) 午前10時から午後4時

会場：名古屋市博物館展示解説室

参加者数：1月26日(土) 231名、11月27日(日) 233名、合計464名

出展団体・個人：プレゼンテーション9、ポスターセッション16(エントリー制)

講演：宮武正登(佐賀大学教授)

セッション：市澤泰峰(名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所)ほか7名

配布資料：『あいちの考古学2016』450部(無償配布)

●●●11月26日(土) 午後1時から午後4時30分

●プレゼンテーション

13:10～13:25「愛知県新城市萩平遺跡A地点隣接地第4次発掘調査の概要」

加藤悠雅(愛知学院大学大学院文学研究科)

13:25～13:40「長先遺跡発掘調査成果」石原奈緒子(安城市教育委員会)

13:40～13:55「平成28年度弥七田窯跡第2次発掘調査報告」

伊藤真央(愛知学院大学大学院文学研究科)

13:55～14:10「古代寺院出土瓦からみた伊勢国における寺院間関係」

西本菜由(名古屋大学大学院文学研究科)

14:10～14:25「愛知県埋蔵文化財調査センターの普及・公開活動」

尾崎綾亮(愛知県埋蔵文化財調査センター)

●セッション1『近世名古屋城の調査 ―築城期の状況―』

14:40～14:45「趣旨説明」松田訓(愛知県埋蔵文化財センター)

14:45～15:05「名古屋城本丸と二ノ丸」

市澤泰峰(名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所)

15:05～15:25「名古屋城三の丸と城下町」

水野裕之(名古屋市教育委員会文化財保護室)

15:25～15:45「名古屋城築城期の資料について」

岡村弘子(名古屋市博物館)

15:45～16:30 パネルディスカッション

司会：松田訓、

パネラー：市澤泰峰・水野裕之・岡村弘子



▲プレゼンテーション会場

●●● 11月27日(日) 午前10時から午後4時

●プレゼンテーション

10:05～10:20「揚羽蝶瓦の華麗なる蝶戦」白樫淳(株式会社アコード)

10:20～10:35「美濃路界限における考古学的調査の意義」奥野絵美(一宮市尾西歴史民俗資料館)

10:35～10:50「犬山焼に登場する動物たち」佐久間真子(愛知県陶磁美術館)ほか

10:50～11:05「設楽地域におけるシシ垣について」

北村和宏(愛知県立足助高等学校)・永井邦仁(愛知県埋蔵文化財センター)

●基調講演

11:20～12:25「城郭石垣の発達史から見た名古屋城の石垣」宮武正登(佐賀大学)

●セッション2『あいちの近世城郭』

13:30～13:35「趣旨説明」鈴木正貴(愛知県埋蔵文化財センター)

13:35～13:55「犬山城」川島誠次(犬山市教育委員会)

13:55～14:15「岡崎城」中根綾香(岡崎市教育委員会)

14:15～14:35「刈谷城」岩月あすか(刈谷市市民活動部文化観光課)

14:30～15:45 パネルディスカッション

司会：鈴木正貴、パネラー：川島誠次・中根綾香・岩月あすか

●●●ポスターセッション(11月26日・27日開催)

「設楽ダム建設に伴う発掘調査成果2016」池本正明ほか(愛知県埋蔵文化財センター)

「豊川市船山第1号墳の調査成果について」天野雄矢(豊川市教育委員会)

「平成27年度畑間遺跡発掘調査成果報告」宮澤浩司(東海市教育委員会)

「伊勢国分寺跡」吉田真由美(鈴鹿市考古博物館)

「弥生時代における堅果類貯蔵穴」内藤千温(名古屋大学大学院文学研究科)

「西尾市善光寺沢南古墳の発掘」竹村麻里佳・林田愛美・古田成美・黒澤浩(南山大学大学院)

「文化遺産カードの今と未来」

西村誠治(ナカシャクリエイト株式会社)・赤塚次郎(NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク)

「石垣を計る」内田恭司(国際文化財株式会社文化財調査部)

「東海での史跡整備事業のご紹介」鈴木香枝・大迫賢一(株式会社イビソク)

「過去を未来に伝える技術『保存処理』」須山貴史(株式会社イビソク)

「酸素同位体比測定と放射性炭素年代測定」小林克也(株式会社パレオラボ)

「桜井城跡発掘調査成果」石原奈緒子(安城市教育委員会)

「森浩一文庫～考古学は地域に勇気を与える」若杉尚代・銅坂有紗(春日井市教育委員会)

「猿投窯H-39号窯採集資料の整理調査」

大西遼(愛知県陶磁美術館)

「揚羽蝶瓦の華麗なる蝶戦」白樫淳(株式会社アコード)

「犬山焼に登場する動物たち」佐久間真子(愛知県陶

磁美術館)・青木修(瀬戸市文化振興財団)・

井上あゆこ(犬山市文化史料館)・中野耕司(NPO

法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク)

「考古学フォーラムのご案内」考古学フォーラム

「愛知県史のご案内」愛知県史編さん室



▲ポスターセッション会場